

シンポジウム

人を潤す言葉

日時 平成27年**9月16日** **水** [18:00~20:30]
会場 日経ホール [大手町1-3-7 日経ビル3F]
主催 日本経済新聞社 文字・活字文化推進機構

言葉で人生やビジネスが豊かになる、そんな経験はありませんか。言葉は自分を写す鏡であり、人に何かを伝える手段にもなります。多様なメディアに膨大な情報があふれる今こそ、言葉の力をじっくりと考えてみたいと思います。活字情報を通じて自分や他人を見つめ直し、新しい世界に踏み出すことのすばらしさ。そんな「人を潤す言葉」の力を、作家、企業人、研究者らに語っていただきます。

プログラム (敬称略)

主催者
挨拶

日本経済新聞社 専務取締役 は せ べ つよし
長谷部 剛
文字・活字文化推進機構 副会長 あ と う だ たかし
阿刀田 高

基調講演

第1部

「言葉を紡ぐということ」

《講師》 小説家
ま や ま じん
真 山 仁

パネルディスカッション

第2部

「言葉で豊かになる生活・しごと」

《パネリスト》 日立製作所相談役
か わ む ら たかし
川 村 隆

小説家
い そ ぎ き けんいちろう
磯崎憲一郎

国際政治学者・東京大学政策ビジョン研究センター客員研究員
み う ら る り
三 浦 瑠 麗

《司会》 テレビ東京アナウンサー
は ん だ み き
繁 田 美 貴

プロフィール(敬称略)



まやま じん 小説家
真山 仁

1962年大阪府生まれ。同志社大法卒。新聞記者、フリーライターを経て、2004年経済小説『ハゲタカ』でデビュー。07年同作などを原作とするNHK土曜ドラマ「ハゲタカ」が放送され、大きな話題に。近著に『そして、星の輝く夜がくる』、『売国』、『雨に泣いてる』、『ハゲタカ外伝 スパイラル』など。



かわむら たかし
川村 隆 日立製作所相談役

1939年北海道生まれ。62年に東京大学工学部電気工学科を卒業、日立製作所入社。95年取締役、99年副社長。2003年にグループ会社に転出した後、09年日立製作所会長兼社長、10年会長、14年6月から現職。10年から14年まで日本経済団体連合会副会長。古典を中心にした無類の読書家。スキー、ゴルフ、英語、小唄など趣味は幅広い。



いそざき けんいちろう
磯崎憲一郎 小説家

1965年千葉県生まれ、早稲田大商卒。2007年『肝心の子供』で文藝賞を受賞して小説家デビュー。09年『終の住処』で芥川賞。他の著書に『赤の他人の瓜二つ』(Bunkamuraドゥマゴ文学賞)、『往古来今』(泉鏡花文学賞)、『眼と太陽』、『世紀の発見』、『電車道』がある。



みうら るり
三浦 瑠麗 国際政治学者・東京大学政策ビジョン研究センター客員研究員

2004年東京大学農学部卒、10年東大大学院にて博士(法学)。専門は国際政治学。株式会社山猫総合研究所代表として、政治外交ブログ「山猫日記」を執筆する傍ら、著書や様々なメディアで積極的に情報を発信する。近著に『シビリアンの戦争～デモクラシーが攻撃的になるとき』、『日本に絶望している人のための政治入門』。



はんだ みき
繁田美貴 テレビ東京アナウンサー

2007年テレビ東京入社。最近の趣味はカメラ。ロケ風景などをブログに掲載している。「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ」、「田勢康弘の週刊ニュース新書」などを担当。愛読書は東野圭吾『秘密』、『パラレルワールド・ラブストーリー』。好きな言葉は「Take it easy」、「反省はしても後悔はしない」。

© テレビ東京

メモ